

新潟商工会議所 創立120周年 記念会員大会を開催！

おかげさまで創立120周年を迎えました
新潟商工会議所はこれからも
会員企業の繁栄と地域経済の発展に貢献します



会員紹介を呼び掛ける
パワーアップ5000推進委員

当所は、今年、創立120周年を迎えました。これを記念して、創立記念日である7月25日に会員大会を開催。新潟グランドホテルにおいて超満員となる440名もの会員が参加し、第1部では、昭和女子大学理事長の坂東眞理子氏が「日本人の品格」をテーマに講演、第2部ではNGT48ステージパフォーマンスが行われました。第3部の交流パーティーでは、福田勝之会頭挨拶の後、来賓の泉田裕彦新潟県知事と浜田栄治新潟市副市長から祝辞をいただきました。



挨拶する福田会頭

〈福田会頭挨拶要旨〉

本日は440名という多数の会員の皆様方から創立120周年記念会員大会にご出席いただき誠にありがとうございます。当商工会議所は、今からちょうど120年前の明治29年7月25日に全国41番目の商業会議所として発足いたしました。不屈の情熱で、輝かしい歴史と伝統を築き上げてこられた歴代会頭はじめ諸先輩に、心から敬意を表し、感謝申し上げます。これまでも、これまで当所の活動に温かいご支援とご協力を頂きました会員各位をはじめ関係諸団体の皆様方に衷心からお礼を申しあげます。現在、会員増強運動に懸命に取り組ん

〈坂東氏講演会要旨〉

企業のグローバル競争が激しくなる中で、「ガバナンス」や「コンプライアンス」が強調されているが、悪いことをしな



「日本人の品格」と題して講演する坂東氏

でおりますが、お陰様で、この11年間、毎年少しずつですが、確実に会員数は伸びてきております。本日も会場入口でパワーアップ5000推進委員の皆さんから会員紹介運動のご協力を呼び掛けていただきました。1日も早い5000会員達成のため、引き続き皆様方からの更なるお力添えをお願い申し上げます。

新潟商工会議所は、これから先も、会員企業の繁栄と地域経済の発展に貢献するよう精一杯努力して参ります。本日も列席いただきましたご来賓ならびに会員各位に今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

れば良いという消極的倫理を守っているだけではなく、積極的倫理が重要である。経営者は、従業員に対して、各々の「仕事」が意義のあることで、その仕事を達成することで成果が上がり、業績に繋がっていくことを示すこと、また、自ら考え行動できる、生き活きた人材を確保していくことが大切である。会社は、株主だけのものではなく、顧客や従業員、経営者のものでもあり、良い仕事をする企業が地域社会を良くし、ひいては国を良くしていく。トップの人たちは世の中を良くし、世の中のために仕事をすると高い目標を掲げることで、従業員全員を鼓舞し、能力を発揮させていくことができる。働く者一人ひとりが、生き生きと仕事をすることで、企業の品格が上がる。今しなければならぬことを一生懸命行い、責任を最大限に果たすことが、人生を豊かにしていくことへと繋がっていく。



©AKS

NGT48によるステージパフォーマンス



初代会館（明治43年～昭和3年）



増築後の初代会館（昭和3年～昭和38年）



上大川前通 中央会館（昭和38年～平成25年）

新潟商工会議所は、明治29年（1896年）7月25日、全国で41番目、北信越では6番目に設立が認可された商工会議所です。創立当時は「新潟商業会議所」という名称で、市役所内（西堀通6）に事務所が置かれました。

明治の末期には、環日本海時代を先取りした新潟・ウラジオストク定期航路の開設を背景に、ウラジオストク・樺太へ実業視察団を派遣して国際経済交流の取り組みを進めるなど、活発な活動を展開するとともに、明治43年には、上大川前通7番町に独立した会館（初代会館）を落成させて活動の土台作りを進めました。

その後、昭和2年4月に「商工会議所法」が公布され、昭和3年1月からは、これまでの「新潟商業会議所」を改め「新潟商工会議所」として新たにスタートを切りました。

昭和12年に起こった日中戦争を契機とする、厳しい統治制度の時代を解散や

新潟商工会議所の変遷

120年の歩み

合併など経済団体再編成を経ながら乗り切ると、終戦後の昭和29年には、「新商工会議所法」が施行され、以降は「地域の商工業者の利益を図り、地域全体の発展を目的とする総合経済団体」として確固たる役割を担って活動していくこととなります。

高度成長期を迎え、昭和38年には新会館（新潟市商工福祉会館）後の新潟商工会議所中央会館を竣工させ、新潟の経済発展に向け、より一層積極的な事業展開が図られる中、平成8年7月には創立100周年を迎え、記念式典、百年史の刊行、記念講演会の開催など各種の記念事業を盛大に実施しました。

現在の事務所 万代島ビル7F（平成15年～現在）



さらに、平成15年には、再開発が進められた万代島の新たな産業振興の拠点「朱鷺メッセ」の完成に合わせ、相談業務の大幅な拡充や各種情報伝達機能の充実を図るため、新潟商工会議所は機能の中核を同万代島ビル7階へと移転させました。

このような中、平成19年4月には、当所が平成元年から押し進めてきた「新潟100万都市構想」が結実する形で新潟市が政令指定都市への移行を果たし、新たな時代の幕開けとなりました。

なお、本部機能の万代島ビル移転に伴い、上大川前通7番町の中央会館は、中心市街地活性化の観点から「まちづくり支援課」を残し、「中央支所」として位置付けられ、10年間存続した後、平成25年3月末に閉館しました。

今年、120周年を迎える新潟商工会議所は、万代島ビルを拠点に、新潟地域の更なる発展に向けて各種事業に取り組んでいます。